

「働き方改革」

に関する講演を実施

小玉労働局長は、平成30年6月5日（火）長崎経済同友会佐世保地区（会員は佐世保地区の主要企業のトップ等90名、代表幹事は吉澤親和銀行取締役頭取、事務局は株式会社親和銀行内に設置）の6月例会において、『「働き方改革」のすすめ』と題した講演を行いました。

同会は今年度、「働き方改革による生産性向上」をテーマに取り組んでいることから、今回の講演が行われたものです。

佐世保地区の企業経営者等に、「働き方改革がなぜ必要なのか?」、「働き方改革の全体像」、「働き方改革のための支援策」等の内容を説明する中で、特に、「働き方改革を推進し、働いている方、働きたいと希望する方すべてが、ワーク・ライフ・バランスを実現しながら活躍できるようになり、働くモチベーションが高くなることで、企業にとっても生産性の向上や従業員の定着につながるとともに、働きやすい職場であることのアピールや企業のイメージアップをもたらし、人材の確保、人手不足の解消に結びつく」というメリットを紹介し、働き方改革を進めていくことを強く求めました。

最後に、同会副幹事（株式会社橘高代表取締役社長）から、講演に対する謝辞をいただくとともに、同会においては生産性向上の研修を継続的に実施していくこと、同社においては職場環境の整備の一環として時間外労働の削減の取組を行っていること等が紹介された。

